

人も地球も健康に

Yakult

株式会社ヤクルト本社

第56期 株主通信

平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日



CONTENTS

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 06 所在地別セグメント概況
- 07 連結財務諸表等
- 10 個別財務諸表等
- 11 会社情報
- 13 ご案内 エコカー導入/工場の見学のご案内/株券電子化について

ごあいさつ



株主の皆さまには、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

ここに、平成19年4月1日から平成20年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成20年6月 代表取締役社長

堀 澄也



私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半においては、好調な企業業績を背景とした雇用環境の改善や設備投資の拡大により、緩やかな回復基調をたどりましたが、後半においては、米国の金融不安を発端とした株安や円高ドル安に加えて、原材料や原油価格の高騰などの影響により、景気の先行きに対する不透明感が強まる状況で推移しました。

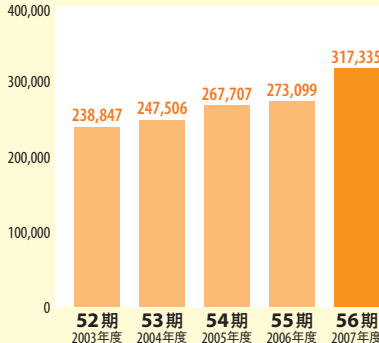
このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の整備に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は317,335百万円（前期比16.2%増）となりました。利益面においては、経常利益は31,479百万円（前期比6.3%減）、当期純利益は16,675百万円（前期比12.6%増）となりました。

連結業績ハイライト

● 売上高

(百万円)



次期について

乳製品については、当社の原点である「1人でも多くの方にお会いし、価値をお伝えする」ための販売活動を推進していくことにより、売り上げ増大を目指します。地区限定で販売している新価値乳製品「BF-1」については、販売地区拡大を予定しています。また、新製品の開発・リニューアルを行い、お客さまのさまざまな健康ニーズにお応えしていきます。

医薬品に関しては、がん領域に特化した活動を展開し、市場の実態に柔軟に対応しつつ、「後発品との差別化」「価格競争力の維持」等に取り組んでいきます。

さらに化粧品についても、引き続き「量から質へ」をテーマに、お客さま満足度の向上を追求することで、他社との差別化を図っていききたいと考えています。

株主の皆さまへ

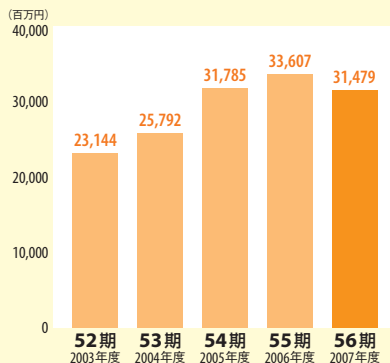
当社は、利益配分を重要な経営方針のひとつとして位置づけ、平成17年3月期以降、株主の皆さまへ、より積極的な利益還元を行うため、「安定した配当を継続することを堅持しつつ、毎期の業績に応じた配当政策」を実施しています。

平成20年3月期末の配当金については、普通配当7円50銭に当期の業績に応じた特別配当5円を加算した12円50銭としました。これにより、当期の1株当たり年間配当金は、すでに実施している中間配当金7円50銭と合わせ、前期比2円増配の20円となります。

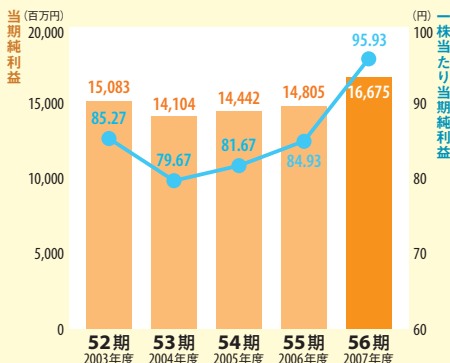
また、次期の配当については、年間15円の普通配当をベースに、将来の事業拡大、収益の向上を図るための資金需要および財政状況を総合的に勘案しつつ、単体および連結の業績に応じた配当5円を加算し、(今期と同額の)年額20円とする方向で現時点では考えています。

一方、内部留保金については、研究開発投資や生産設備の更新に充当し、競争力の向上と企業体質の強化に努めていきます。

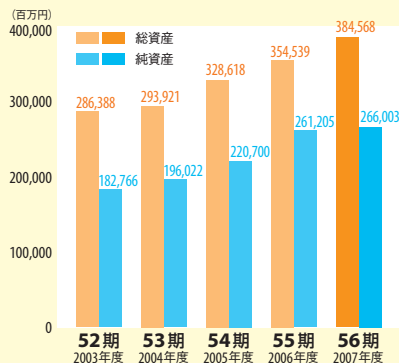
● 経常利益



● 当期純利益 / 一株当たり当期純利益



● 総資産 / 純資産



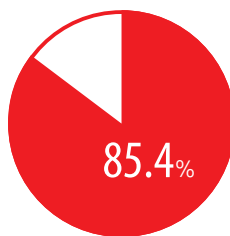
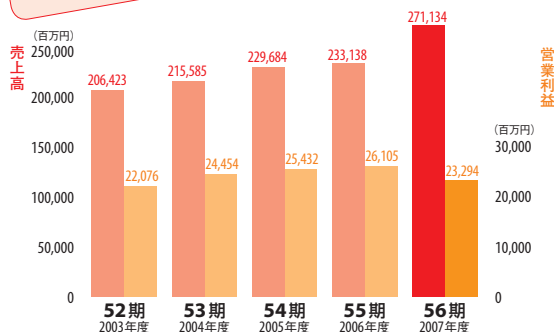
Financial Result by Segments — セグメント別業績概況

飲料および 食品製造販売 事業部門

当期

売上高 271,134 百万円
(前期比：16.3% ▲)

営業利益 23,294 百万円
(前期比：10.8% ▼)



売上高構成比

乳製品については、「乳酸菌 シロタ株」の価値訴求を徹底したことで、「ヤクルト400」および「ヤクルト」が前期を大きく上回る実績を示しました。これにより、近年の売り上げ減少傾向に歯止めがかかり、乳製品全体では前期をわずかに上回る実績となりました。一方、ジュース・清涼飲料については、「爽麗茶」が下半期の実績を伸ばしましたが、ジュース・清涼飲料全体としては、前期を下回る実績にとどまりました。海外については、30の国と地域で「ヤクルト」の製造、販売を行っており、販売エリアを順次拡大しています。これらの結果、当事業部門の連結売上高は271,134百万円（前期比16.3%増）となりました。

NEWS & TOPICS

2008年 ニュース&トピックス

女性に魅力的な成分がいっぱい! 乳酸菌飲料「ヤクルト SHEs」を新発売

健 康志向が高く、内面からの美容やアンチエイジングに対する意識も高い30～40代女性向け、新しい乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト SHEs (シーズ)」が誕生しました。

「ヤクルト SHEs」は、乳酸菌 シロタ株を300億個含むほか、「カルシウム」「鉄分」「コラーゲン」など女性に魅力的な成分を多く含みながら、カロリーを59kcalに抑えているの



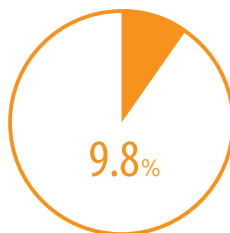
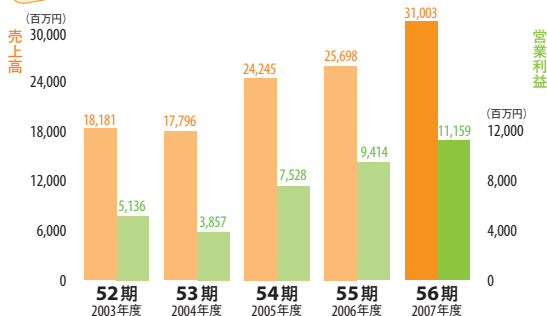
が大きな特徴です。ヤクルトの風味を基調に、甘さ控えめで、ほんのリピーチ風味を加え、すっきりした女性好みの風味に仕上がりました。2008年6月より全国の店頭で発売しました。

医薬品 製造販売 事業部門

当期

売上高 31,003 百万円
(前期比：20.6% ▲)

営業利益 11,159 百万円
(前期比：18.5% ▲)



売上高構成比

がん化学療法剤「エルブラット」の適正使用を最重点に販売活動を展開しました。また、活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」を昨年7月に発売し、がん領域への特化と販路拡大に力を注ぎました。医薬部外品では「ヤクルトBL整腸薬S錠」などの販売強化に努めました。海外では、「カンプト注」が主に大腸がんのファーストライン（第一次化学療法）治療薬として、米国や欧州を中心に全世界で発売されています。これらの結果、国内外ともに前期を上回る実績となり、当事業部門の連結売上高は31,003百万円（前期比20.6%増）となりました。

「黒酢ドリンク」リニューアル & 「紫の美味しいお酢」新発売！

2008年6月、「黒酢ドリンク」のリニューアルに加え、新商品「紫の美味しいお酢」を発売しました。「黒酢ドリンク」は、黒酢とブランド梅として知名度の高い「紀州南高梅」のうめ果汁、はちみつを組み合わせ、さらに飲みやすくすっきりした味わいに仕上がりました。

「紫の美味しいお酢」は、お酢が苦手な人にも飲みやすい「ぶどう果汁」を加えた果実飲料感覚のピネガードリンク。「紫芋酢」と「ぶどう果汁」の天然原料由来のポリフェノールが1本に20mg含まれています。



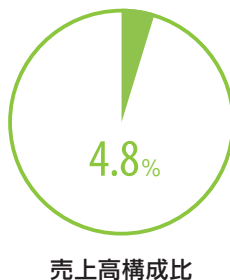
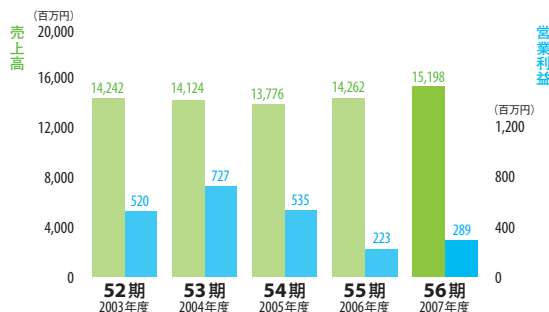
Financial Result by Segments — セグメント別業績概況

その他 事業部門

当期

売上高 15,198 百万円
(前期比：6.6%▲)

営業利益 289 百万円
(前期比：29.6%▲)



化粧品については、基幹ブランドである「パラビオ」進化型シリーズのラインアップの充実を図ったほか、アンチエイジング世代のお客さまにトータルスキンケアを積極的にお勧めし、素肌の若返りを提案する販売活動を展開しました。その結果、化粧品全体としてはほぼ前期並みの実績となりました。一方、プロ野球興行については、前期に引き続き、積極的なファンサービスや情報発信を行うとともに、神宮球場において各種イベントを実施したことなどにより、入場者数の増大を図ることができました。これらの結果、当事業部門の連結売上高は15,198百万円（前期比6.6%増）となりました。

高級基礎化粧品「パラビオ」進化型シリーズから新たにベースメイク3品目を新発売

2007年3月の発売以来、エイジングコントロールとして多くのお客さまにご愛用いただいている高級基礎化粧品「パラビオ」進化型シリーズに2008年3月、ベースメイク3品目「ACメイクアップベース」「ACモイスチュアファンデーション」「ACルースパウダー」が新たに加わりました。これによりスキンケア

アからベースメイクまで含めたトータルスキンケアサポートを実現します。

新発売の3品目は、スキンケア効果も期待できるベースメイクとして、スキンケアでととのえたお肌をより美しく見せ、かつ、日中の様々なトラブルからお肌を守り、うるおいのある若々しいお肌を保ちます。



Financial Result by Regions — 所在地別セグメント概況



ヨーロッパ地域

売上高 **155** 億円(前期比: 18.5%▲)



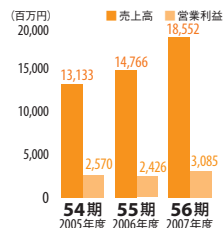
アジア・オセアニア地域

売上高 **185** 億円(前期比: 25.6%▲)

アジア・オセアニア地域

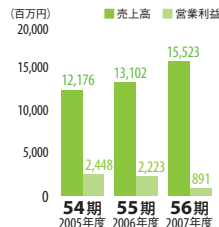
アジア・オセアニア地域においては、香港、中国、インドネシア、シンガポール、マレーシア、オーストラリア、インド、ベトナムで乳製品

品乳酸菌飲料「ヤクルト」等を製造、販売しています。中国では、2002年6月の販売開始以来、順調に売り上げを伸ばしています。また、グループタノンとの戦略的提携契約に基づいて設立した、ベトナムヤクルト株式会社は昨年9月に販売を開始し、インドヤクルト・ダノン株式会社は、本年1月から製造・販売を開始しています。



ヨーロッパ地域

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」等をオランダで製造し、同国を含め、イギリス、ドイツ、ベルギー、オーストリア、イタリアで販売しています。当該地域全体での販売本数は、営業開始以来好調に推移していますが、競合他社の攻勢もあり、競争が激化しています。そのなかにおいて昨年2月に新商品「ピフィーネ」を発売し、積極的に営業活動を展開しています。なお、イタリアヤクルト販売株式会社は、昨年2月から販売を開始しました。



日本

売上高 **2,408** 億円(前期比: 14.3%▲)



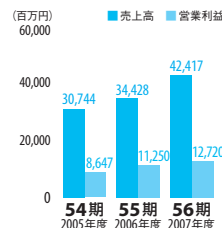
米州地域

売上高 **424** 億円(前期比: 23.2%▲)



米州地域

米州地域においては、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、アメリカで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」等を製造、販売しています。このうち、メキシコ、ブラジルでは順調に売り上げを伸ばし、大幅に前期を上回りました。また、アメリカでは昨年9月にカリフォルニア州において「ヤクルト」の本格販売を開始しています。



Consolidated Financial Statements — 連結財務諸表等

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第55期 平成19年3月31日現在	第56期 平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	165,580	184,659
現金及び預金	77,109	81,172
受取手形及び売掛金	48,426	49,199
有価証券	257	258
たな卸資産	30,548	34,879
繰延税金資産	4,254	6,449
その他	6,007	13,771
貸倒引当金	△1,023	△1,072
固定資産	188,958	199,909
有形固定資産	101,590	116,077
建物及び構築物	34,513	43,259
機械装置及び運搬具	23,994	31,517
土地	32,889	33,303
建設仮勘定	7,292	4,769
その他	2,899	3,227
無形固定資産	5,101	4,670
のれん	1,457	1,164
その他	3,643	3,505
投資その他の資産	82,266	79,161
投資有価証券	70,053	70,393
長期貸付金	875	709
繰延税金資産	4,347	1,798
その他	9,665	6,530
貸倒引当金	△2,674	△270
資産合計	354,539	384,568

科目	第55期 平成19年3月31日現在	第56期 平成20年3月31日現在
負債の部		
流動負債	67,773	88,991
支払手形及び買掛金	26,183	23,791
短期借入金	9,026	29,591
未払法人税等	4,310	1,552
繰延税金負債	695	599
賞与引当金	3,875	4,422
役員賞与引当金	184	168
工場再編損失引当金	—	516
設備支払手形	3,754	5,664
その他	19,743	22,684
固定負債	25,560	29,574
長期借入金	1,673	4,472
繰延税金負債	2,156	5,533
退職給付引当金	16,457	15,970
役員退職慰労引当金	898	1,053
工場再編損失引当金	2,372	—
その他	2,003	2,544
負債合計	93,334	118,565
純資産の部		
株主資本	227,381	236,764
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	40,955	40,955
利益剰余金	158,053	172,273
自己株式	△2,744	△7,581
評価・換算差額等	8,906	516
その他有価証券評価差額金	5,969	193
為替換算調整勘定	2,936	323
少数株主持分	24,916	28,721
純資産合計	261,205	266,003
負債・純資産合計	354,539	384,568

連結損益計算書

単位：百万円

科目	第55期	第56期
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	273,099	317,335
売上原価	125,096	148,140
売上総利益	148,002	169,194
販売費及び一般管理費	124,109	146,692
販売費	58,640	69,969
一般管理費	65,468	76,722
営業利益	23,893	22,502
営業外収益	11,643	11,766
受取利息	2,647	3,352
受取配当金	425	576
為替差益	880	216
ロイヤリティ収入	2,696	2,559
持分法による投資利益	3,447	3,218
その他の営業外収益	1,546	1,842
営業外費用	1,928	2,790
支払利息	122	305
商品及び製品等廃棄損	560	498
貨幣価値変動損	815	921
その他の営業外費用	430	1,065
経常利益	33,607	31,479
特別利益	1,901	4,416
固定資産売却益	1,072	900
和解金収入	—	1,961
その他の特別利益	829	1,553
特別損失	3,832	1,849
固定資産売却却損	917	1,074
貸倒引当金繰入額	0	14
工場再編損失引当金繰入額	1,310	273
減損損失	1,002	—
その他の特別損失	602	487
税金等調整前当期純利益	31,677	34,045
法人税、住民税及び事業税	11,256	6,669
法人税等還付額	—	1,179
法人税等調整額	1,933	7,659
少数株主利益（減算）	3,681	4,220
当期純利益	14,805	16,675

連結株主資本等変動計算書

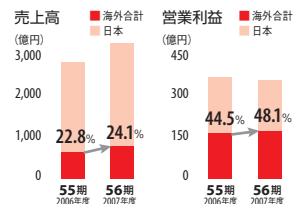
(平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	31,117	40,955	158,053	△2,744	227,381
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△3,110	—	△3,110
連結範囲の変更に伴う剰余金の減少	—	—	△63	—	△63
インシ会計適用に伴う剰余金の増加	—	—	718	—	718
当期純利益	—	—	16,675	—	16,675
自己株式の取得	—	—	—	△4,837	△4,837
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	—	—	14,220	△4,837	9,382
平成20年3月31日残高	31,117	40,955	172,273	△7,581	236,764
	評価・換算差額等				
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	少数 株主持分	純資産 合計
平成19年3月31日残高	5,969	2,936	8,906	24,916	261,205
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△3,110
連結範囲の変更に伴う剰余金の減少	—	—	—	—	△63
インシ会計適用に伴う剰余金の増加	—	—	—	—	718
当期純利益	—	—	—	—	16,675
自己株式の取得	—	—	—	—	△4,837
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	△5,776	△2,612	△8,389	3,804	△4,584
連結会計年度中の変動額合計	△5,776	△2,612	△8,389	3,804	4,798
平成20年3月31日残高	193	323	516	28,721	266,003

第56期のポイント

1. 増収、増益となり、当期純利益は過去最高となりました。
2. 海外子会社は計画どおりに推移しています。（右図参照）
3. 医薬品は売上、利益ともに順調に推移しています。



Consolidated Financial Statements — 連結財務諸表等

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第55期	第56期
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	31,677	34,045
減価償却費	9,025	12,053
減損損失	1,002	—
諸引当金の増減額	1,281	△1,654
受取利息・受取配当金	△3,072	△3,929
支払利息	122	305
持分法投資利益	△3,447	△3,218
有形固定資産除売却損益	△155	173
その他損益	1,605	2,528
売上債権の減少(△増加)額	△1,882	△385
たな卸資産の減少(△増加)額	△1,985	△4,271
仕入債務の増加(△減少)額	△1,246	△2,513
その他資産負債による増減額	1,082	△689
役員賞与の支払額	△207	—
小計	33,798	32,444
利息及び配当の受取額	3,655	4,837
利息の支払額	△126	△314
法人税等の支払額	△11,603	△11,789
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,724	25,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による増減額	△5,468	△168
固定資産の取得による支出	△16,868	△25,485
固定資産の売却による収入	2,482	1,339
投資有価証券の取得による支出	△4,628	△9,893
投資有価証券の売却等による収入	715	35
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得	△362	△10
子会社株式の取得による支出	△59	△40
資金貸付による支出	△671	△207
貸付金回収による収入	350	153
その他	△428	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,939	△34,408

科目	第55期	第56期
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△369	20,290
長期借入による収入	1,000	4,055
長期借入金返済による支出	△772	△1,220
自己株式の取得による支出	△15	△4,796
少数株主による株式払込収入	1,879	550
配当金の支払額	△2,789	△3,110
少数株主に対する配当金の支払額	△1,011	△1,276
その他	5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,073	14,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	988	△1,524
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△299	3,731
現金及び現金同等物期首残高	71,299	70,999
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	164
現金及び現金同等物期末残高	70,999	74,894

ポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、25,177百万円（前期比546百万円の収入減）となりました。この収入減の主な要因は、税金等調整前当期純利益が増加したものの、たな卸資産が増加し、仕入債務が減少したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△34,408百万円（前期比9,469百万円の支出増）となりました。この支出の主な内容は、固定資産の取得等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、14,486百万円（前期比16,560百万円の収入増）となりました。収入増の主な内容は、短期借入金の増加によるものです。

Non-Consolidated Financial Statements — 個別財務諸表等

貸借対照表

単位：百万円

科目	第55期	第56期
	平成19年3月31日現在	平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	85,312	93,461
固定資産	145,678	149,717
有形固定資産	48,520	53,076
無形固定資産	3,253	3,239
投資その他の資産	93,904	93,401
資産合計	230,990	243,179
負債の部		
流動負債	51,023	70,005
固定負債	14,801	13,615
負債合計	65,824	83,620
純資産の部		
株主資本	159,477	159,708
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	40,659	40,659
資本準備金	40,659	40,659
利益剰余金	90,265	95,293
利益準備金	7,779	7,779
その他の利益剰余金	82,486	87,514
固定資産圧縮特別勘定積立金	452	746
別途積立金	72,700	77,000
繰越利益剰余金	9,333	9,768
自己株式	△2,565	△7,361
評価・換算差額等	5,688	△150
その他有価証券評価差額金	5,688	△150
純資産合計	165,166	159,558
負債・純資産合計	230,990	243,179

損益計算書

単位：百万円

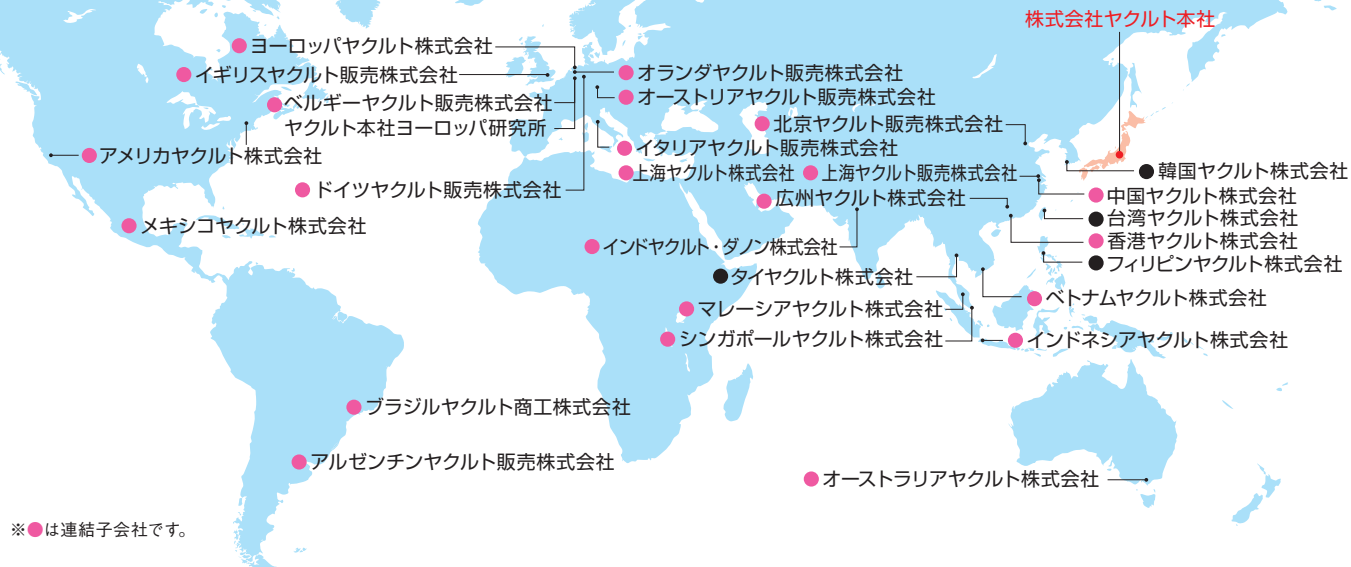
科目	第55期	第56期
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	161,656	167,390
売上原価	96,446	101,011
売上総利益	65,209	66,379
販売費及び一般管理費	59,284	62,597
営業利益	5,925	3,782
営業外収益	9,339	9,813
営業外費用	528	856
経常利益	14,736	12,739
特別利益	1,089	3,272
特別損失	2,153	2,087
税引前当期純利益	13,672	13,924
法人税、住民税及び事業税	5,460	70
法人税等還付額	—	1,179
法人税等調整額	△38	6,866
当期純利益	8,250	8,166

株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本						純資産合計
	資本剰余金			利益剰余金			
	資本金	資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
				固定資産圧縮特別勘定積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成19年3月31日残高	31,117	40,659	40,659	7,779	452	72,700	9,333
事業年度中の変動額							
別途積立金の積立	—	—	—	—	—	4,300	△4,300
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△3,138
固定資産圧縮特別勘定積立金の積立	—	—	—	—	293	—	△293
当期純利益	—	—	—	—	—	—	8,166
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	293	4,300	435
平成20年3月31日残高	31,117	40,659	40,659	7,779	746	77,000	9,768
	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	90,265	△2,565	159,477	5,688	5,688	165,166	
事業年度中の変動額							
別途積立金の積立	—	—	—	—	—	—	
剰余金の配当	△3,138	—	△3,138	—	—	△3,138	
固定資産圧縮特別勘定積立金の積立	—	—	—	—	—	—	
当期純利益	8,166	—	8,166	—	—	8,166	
自己株式の取得	—	△4,796	△4,796	—	—	△4,796	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	△5,839	△5,839	△5,839	
事業年度中の変動額合計	5,028	△4,796	231	△5,839	△5,839	△5,607	
平成20年3月31日残高	95,293	△7,361	159,708	△150	△150	159,558	

海外事業所



連結子会社 (66社)

主要な連結子会社

- 千葉中央ヤクルト販売株式会社(「ヤクルト」等の販売)
- 株式会社神戸ヤクルト工場(「ヤクルト 400」等の瓶詰)
- ヤクルト商事株式会社(「ヤクルト」等の販売用資機材の販売)
- 株式会社ヤクルトマテリアル(香料等の製造販売)
- ヤクルト食品工業株式会社(麺類の製造販売)
- 中央ヤクルト物流株式会社(「ヤクルト」等の輸送)
- 株式会社ヤクルト球団(プロ野球の興行)
- メキシコヤクルト株式会社(「ヤクルト」等の製造販売)

各地区販売会社・瓶詰会社

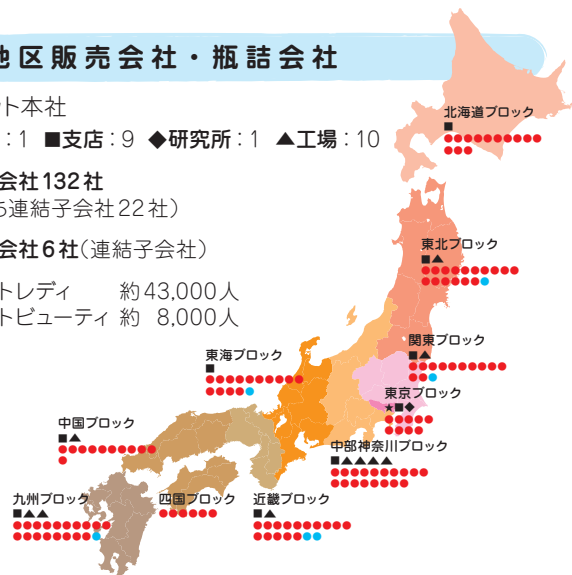
ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：9 ◆研究所：1 ▲工場：10

●販売会社 132社
(うち連結子会社 22社)

●瓶詰会社 6社(連結子会社)

ヤクルトレディ 約 43,000人
ヤクルトビューティ 約 8,000人



会社概要

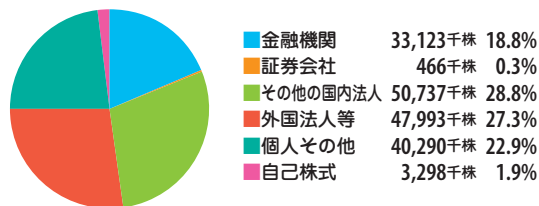
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574)8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,413名

(注) 上記従業員数には、出向者・嘱託は含まれていません。

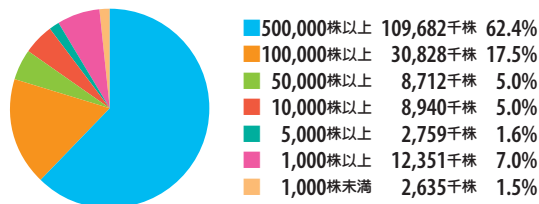
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………24,272名

所有者別分布状況



所有者株式数別分布状況



役員

代表取締役社長	堀 澄也	取締役	村田 泰文	取締役	竹村 雅行
専務取締役	勝又 昭	取締役	根岸 正広	取締役	荒木 敏博
専務取締役	釣谷 尚正	取締役	阪本 重善	取締役	星野 哲也
専務取締役	田中 隆一郎	取締役	成田 裕	取締役	阿部 泰久
専務取締役	富部 保	取締役	澤田 治司	常勤監査役	大坪 勝己
専務取締役	千野 龍二	取締役	阿部 晃範	常勤監査役	田中 竹義
専務取締役	寺田 清	取締役	ジャックヴァンサン	監査役	中村 輝夫
常務取締役	川端 美博	取締役	イマエエルファベル	監査役	奥平 哲彦
常務取締役	衣笠 剛	取締役	スヴェントマレン	監査役	角屋 良平
常務取締役	甲斐 千束	取締役	マルセルバルト	監査役	池田 雅彦
常務取締役	根岸 孝成	取締役	池上 昭二	監査役	谷川 清十郎

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミネー/ダノン アジア ホールディングス プライベート リミテッド	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジテレビジョン	6,492	3.69
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口	4,957	2.82
共進会	4,077	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,958	2.25
日本生命保険相互会社	2,920	1.66
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,872	1.63
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
中村輝夫	2,030	1.15

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式3,298千株を保有しています。

人も地球も健康に! 医薬品事業にエコカーを導入

当社コーポレートスローガン「人も地球も健康に」のもと、省資源・省エネルギーへの取り組みの一環として、医薬品事業の営業車約160台についてエコカー（ハイブリッドカー）を導入します。

現在、医薬品事業では約180台の営業車を保有し、全国各地で医療機関などへの訪問活動を行っています。営業車の走行距離の総計は、年間約351万キロ（地球約90周分）

にも及ぶことから、排出される排気ガス（CO₂）が環境に与える影響を考え、エコカーの導入を決定しました。エコカーは、4WD車を使用している北海道・東北地区の約20台を除く約160台すべてに導入していきます。

今後も社員一人ひとりに環境教育を徹底するとともに、温室効果ガスであるCO₂排出量の低減を目指し環境保全意識の向上に取り組んでいきます。

ヤクルトの工場見学に行ってみよう!

当社では、工場見学をとおして、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」等の保健機能や安全性の高さをご紹介します。また、当社唯一の化粧品工場である湘南化粧品工場に、「五感にうったえる」「見ていただける」工場として見学施設を新設しました。工場見学のお問い合わせは、各工場までご連絡ください。

全国乳製品工場リスト

本社工場	子会社工場
福島工場 ☎ 024(546)8960	株岩手ヤクルト工場 ☎ 0197(71)2828
茨城工場 ☎ 0280(84)2121	株千葉ヤクルト工場 ☎ 043(432)8960
富士裾野工場 ☎ 055(997)3311	株愛知ヤクルト工場 ☎ 0561(73)8960
静岡工場 ☎ 054(262)8960	株大阪ヤクルト工場※ ☎ 072(826)8960
京都工場 ☎ 0774(22)8960	株神戸ヤクルト工場 ☎ 078(974)8960
福山工場 ☎ 084(934)8960	株福岡ヤクルト工場 ☎ 092(925)8960
佐賀工場 ☎ 0952(52)3161	
熊本工場 ☎ 096(324)8960	

※印の工場では工場見学を実施しておりません。また、無印の工場でも設備工事等の関係で見学を休止している場合があります。あらかじめご了承ください。

化粧品工場

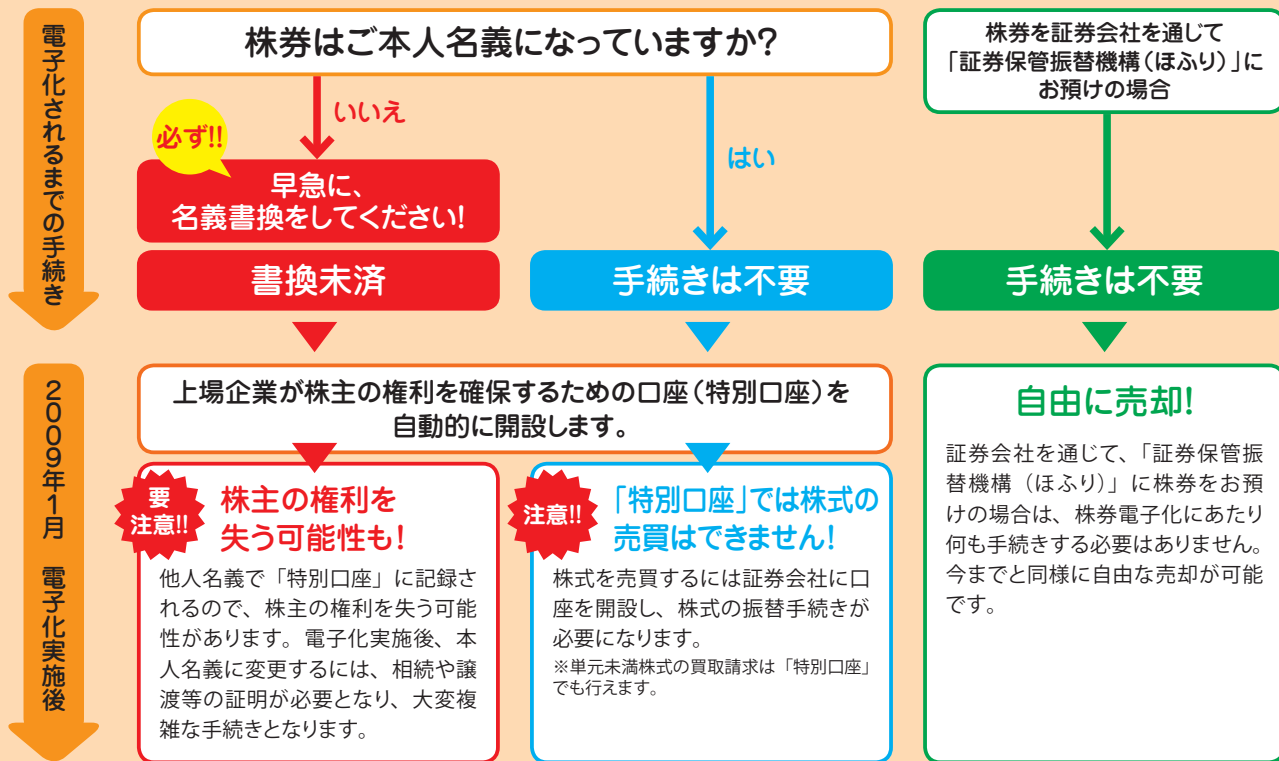
湘南化粧品工場
神奈川県藤沢市の湘南化粧品工場に、工場見学施設を新設しました。2008年4月1日から見学開始しています。以下の専用フリーダイヤルにてお申し込みください。
☎ 0120-8960-25

ホームページ「工場見学のご案内」もご覧ください ▶▶▶ <http://www.yakult.co.jp/factory/>

準備はもうお済みですか？

「株券の電子化」が、2009年1月に実施予定です。

株券電子化が実施されると、上場会社の株券は無効となりますが、株主の権利は電子的に証券会社などの金融機関の口座で管理されます。株券をお手元にお持ちの場合は、必ずご確認ください。



株券電子化に関するお問い合わせ・情報は...

TEL : 03-3667-4500 (平日9:00~17:00)

日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター
(証券受渡・決済制度改革懇談会事務局)

URL : <http://www.kessaicenter.com/>

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載方法	電子公告 http://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社	
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階）	
（郵便物送付先） （連絡先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目7番1号 東京証券代行株式会社 代行本部 ☎0120-49-7009	
同取次所	東京証券代行株式会社各取次所 ※当社の株式に関する事務につきましては、中央三井信託銀行の本店および全国各支店において取次事務を行っております。	

株主優待

当社商品の提供

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま

- 当社「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を進呈（※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります）。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで（4～6月で1試合＋7月以降で1試合）。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

諸届用紙のご請求

住所変更・改印等の変更届、配当金振込指定書、単元未済株式買取請求書および株式名義書換請求書等の諸届出に使用いたします用紙のご請求につきましては、次の方法もご利用になれます（24時間、土・日・祝祭日もお受けいたします）。

【電話を利用した自動音声応答による受付】

☎ 0120-16-5805

【インターネットによる用紙のご請求】

東京証券代行株式会社のホームページにおいて、用紙の印刷およびインターネットメールによる用紙のご請求がご利用になれます。

<http://www.tosyodai.co.jp>

「株式に関する用紙のご請求」「株式に関する手続きのご案内」「株式に関する手続きのQ&A」をご参照ください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社 証券コード2267
東京都港区東新橋1丁目1番19号 TEL:03-3574-8960（大代表）

PRINTED WITH
SOY INK
本報告書は、環境保全のため再生紙を使用し、
大豆インクで印刷しています。